



戦跡を巡り歩いた広南中の決めキャラもくりんさんと文化活動部のメンバー



みんなで戦跡を巡り歩きながら戦争の記憶を受け継ぐだもく！

ひろ戦跡巡りマップ

Google Map 上にもっと詳しい情報を載せました。広南中のHPから見れるので活用してください。



吉松山 防空高角砲台跡



ここにあった120基の大きな半地下式の重油タンク(深さ35m内径20m)は戦後しばらく不燃物廃棄物を捨てる場所として利用された。

広の多賀谷地区が「虹村」とよばれるようになった理由について、広海軍航空戦闘隊が通称「虹部隊」と呼ばれていたことと占領軍宿舎の屋根が七つの色に塗り分けられていたためという2つの説がある。

第2次世界大戦時の呉市を舞台にしたアニメ映画「この世界の片隅に」が2016年に公開されました。しかし、そのアニメの中では、広地区のことはほとんど描かれていませんでした。

2017年3月16日、私たちは、三角浜にある黄幡山地下工場跡を見学し、そこで働いていた人から話を聞いたことをきっかけに、私達の広町でも大空襲があって、様々な戦争の傷跡が残っていることを知りました。調べていく中で、私達の先輩が地域の方からの聞き書きを通して作成された「ひろ戦跡マップ」(1995年発行)の存在を知りました。私たちは、この戦跡マップをたよりに、文化活動部のメンバーで、それらの戦跡が今どうなっているか再調査し、新しく発見したことも加え、リニューアルおよびGoogleMap上に戦跡マップをつくることに挑戦しました。また、学んだことをもとに創作劇(広南中のHPで公開中)にも取り組みました。なお、私達のこの取組は、「呉市・広こどもまちづくり事業」として呉市の支援を受け、先生方と山根一夫さん、平原聖三さんをはじめとする多くの地域の方のご協力で実現したものです。

私達を応援してくださったすべての方に感謝するとともにこのマップが未来に受け継がれ役立てていただけることを心から期待しています。

(呉市立広南中学校 生徒一同)



3年生創作劇「この世界の片隅に」(広南プロジェクト)

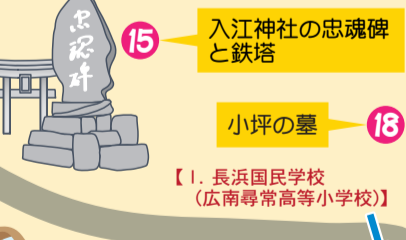


地域の方と黄幡山地下工場探検(H29.3.16)

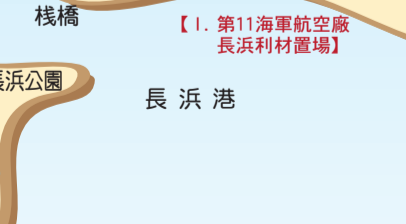
【I】は第二次大戦前の施設
【II】は第二次大戦直後の施設



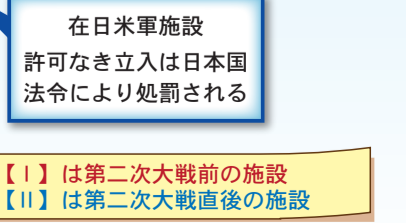
母子像



入江神社の忠魂碑と鉄塔



小坪の墓



【I. 長浜国民学校(広南尋常高等小学校)】